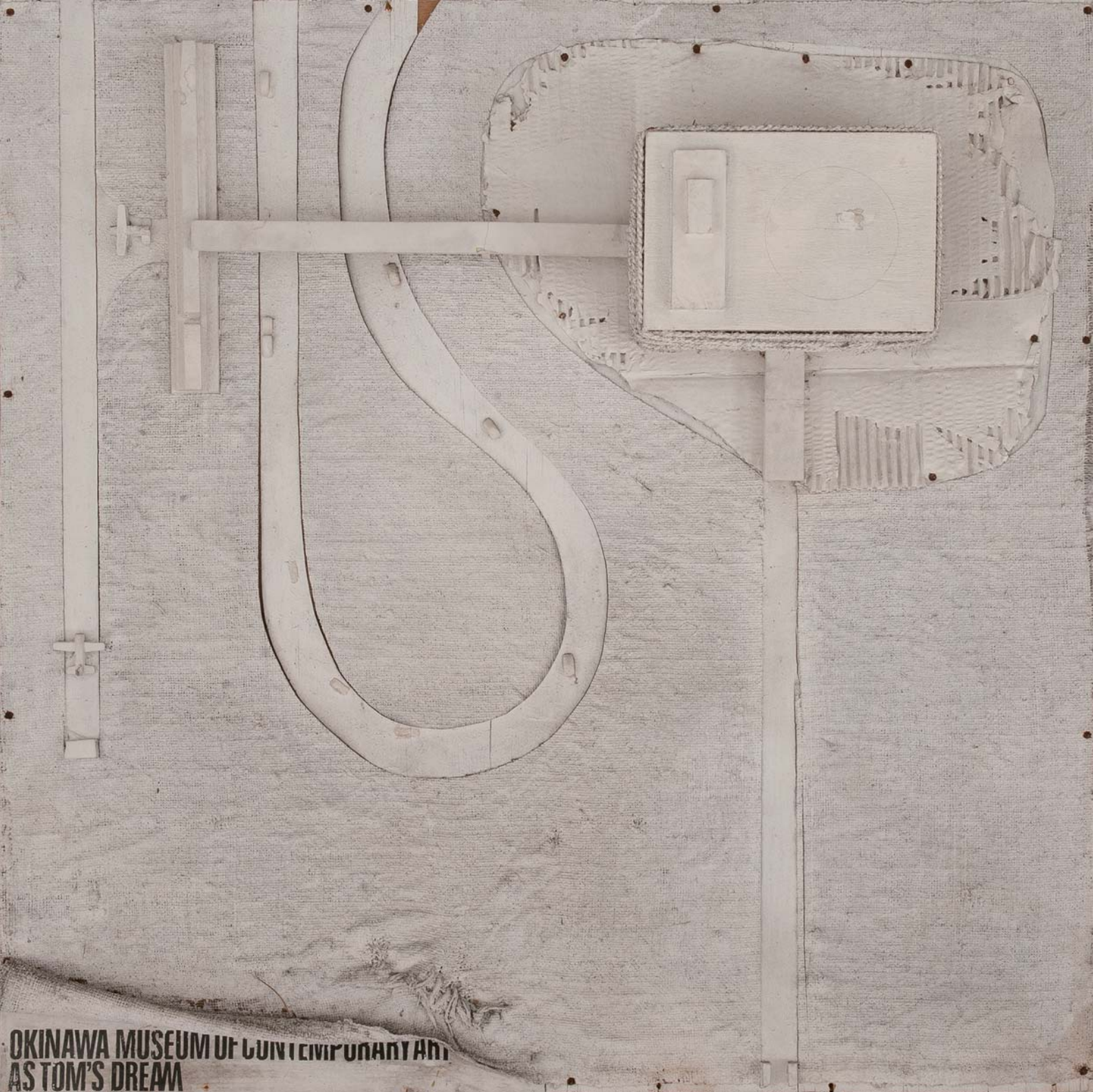




OKINAWA MUSEUM OF CULTURE AND ART
ASTOM'S DREAM

沖縄県立博物館・美術館

はくび通信

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum News Letter

vol.01 秋号

CONTENTS

- 01 表紙作品／広報誌発行にあたって
- 02 博物館 注目の展覧会
- 03 美術館 注目の展覧会
- 04 トピックス
- 05 “はくび”ありんくりん
- 06 教育普及コーナー
- 07 イベント情報
- 08 表紙作品解説／営業情報
アクセスマップ／編集後記
ガチャキャンペーン情報

発行に
あたって

「沖縄県立博物館・美術館ってどんな施設なんだろう?」「何が展示しているのかな?」「どんな体験ができるの?」「私でも参加できるイベントや講座はあるんだろうか?」…。本誌は沖縄県の博物館・美術館をもっと身近に感じ、気軽に立ち寄る場所にしたいとの想いから、2016年4月より新たに指定管理者となった沖縄美ら島財団が発行する広報誌です。年4回にわたり館の展示や取り組みについて楽しいレポートとともにお届けします。(一般財団法人 沖縄美ら島財団)

博物館

日本民藝館80周年 沖縄の工芸展 柳宗悦と昭和10年代の沖縄

民藝運動の創始者、柳 宗悦により1936年に企画・開設された日本民藝館には日本各地や諸外国の工芸品が収蔵されています。1938年、沖縄に初めて足を踏み入れた柳は、陶器や染織などの工芸品、町並や歌、踊りなど日常の暮らしに魅了され、著書に『驚くべき美の王国』と記しています。沖縄戦で県内の文化財が壊滅的な被害を受けたにもかかわらず、同館に貴重な資料が保管されているのは柳の調査・蒐集のたまものです。本展では、柳を驚かせた沖縄の工芸資料と彼らが記録した昭和10年代の沖縄の風景を紹介します。(学芸員 外間一先)



日本民藝館外観



「波に帆文様胴衣」(部分、19世紀)

9月21日(水)～10月23日(日) 博物館 企画・特別展示室
一般 800(640)円、高校・大学生 500(400)円、小・中学生 300(240)円

私達はまるで寶の山に入ったやうな想ひでありました。



柳宗悦(1889～1961、日本民藝館1950年頃)

港川人の時代とその後 ー琉球弧をめぐる人類史の起源と展開ー



サキタリ洞遺跡東洞口



「港川人4号(♀)頭骨」

隆起サンゴ礁からなる石灰岩が広く分布する沖縄では、約2万年前の港川人をはじめとする旧石器時代の人骨化石が数多く発見されており、近年の発掘調査では従来の沖縄の人類史を書き換える成果が得られています。

本展では人類の起源と進化のあらましを紐解き旧石器時代の日本列島と沖縄の出土品を比較しつつ、アジアの中での沖縄の旧石器人の特徴とその位置づけを紹介します。(学芸員 山崎真治)

11月15日(火)～2017年1月15日(日) 博物館 企画・特別展示室
一般 1,000(800)円、高校・大学生 630(510)円、小・中学生 380(310)円

第6回 世界のウチナーンチュ大会特別企画 移民資料展 ウチナーンチュの世越の肝心

世を越えて沖縄の出自を愛する人々に敬意を払うとともに共感する心を育むことを目的に、10月21日から12月4日まで博物館常設展示室で「ウチナーンチュの世越の肝心(ユークイティヌチムグクル)」と題する特別展示を行います。福田経子さん(ハワイ在)寄贈の与那嶺・福田コレクションと移民の歴史の概要を紹介。特別文化講座や移民子弟による芸能公演も。(博物館班長 園原 謙)

10月21日(金)～12月4日(日) 常設展示室 美術工芸室・歴史室
一般 410(330)円、高校・大学生 260(210)円、小・中学生 150(120)円、県内小中学生無料

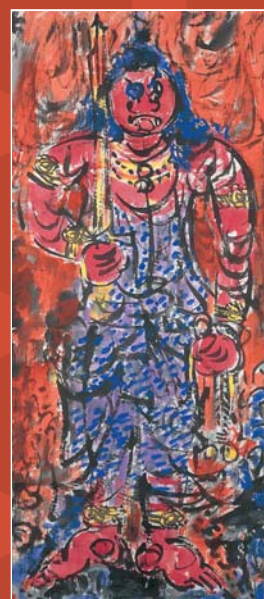
常設展示室



「白釉角瓶」

■博物館常設展示室は、総合展示室と5つの部門展示室(自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗)で構成され通年で観覧できます。

注目の展覧会 クローズアップ



「赤不動」棟方志功 作

国展工芸の「ふるさと」沖縄で初の開催。

90回記念国展 工芸沖縄展 ー黎明から現代 匠の系譜ー

国内最大級の公募展「国展」(主催・国画会)は、絵画・版画・彫刻・工芸・写真の5部門からなり、毎年春に国立新美術館(東京)で開催される展示会は、多くの参観者から好評を得ています。

90回の節目に、国展工芸の“ふるさと”ともいえる沖縄で工芸展を初めて開催。国画会草創期の富本憲吉、柳宗悦、濱田庄司、バーナード・リーチ、芹沢銈介、河井寛次郎、柳悦孝、棟方志功などの作品に加え、先人たちの思いを受け継ぐ現会員、準会員の作品も展示します。



「美ら海」新垣 修 作

9月13日(火)～10月2日(日)
※開場時間は午前9時～午後6時
美術館 企画ギャラリー1、2
一般 1,200(1,000)円、小・中・高 500(400)円
主催・国画会工芸部、沖縄タイムス社

第45回 沖縄県芸術文化祭



多様な芸術文化活動の奨励と芸術鑑賞機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的として写真・書道・美術作品の公募展を中心に開催します。期間中には、体験教室などのイベントが行われる他、県内で開催される様々なイベントと連携した「沖縄ミニエンターレ」も同時開催予定です。

11月12日(土)～20日(日)
美術館 企画ギャラリー1、2 県民ギャラリー1、2、3 入場無料
主催・沖縄県、(公財)沖縄県文化振興会

第8回 沖縄 かりゆし美術展 ねんりんピック



「かじゃでい風」親川 浩 作(第7回 沖縄県知事賞)

高齢者の創作による美術作品を紹介し、芸術文化への参加機会と生きがいづくりを応援する目的で開催。繊細で色鮮やか、そして力強い作品、出品者の作品に懸ける思いが伝わる作品がズラリ。日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門に約300点の力作が寄せられます。

12月2日(金)～12月7日(水) 美術館 企画ギャラリー1、2
入場無料 主催・沖縄県、(福)沖縄県社会福祉協議会

ニューコレクション・シリーズⅡ

真喜志勉展 ーアンビバレント

真喜志勉(1941～2015)は、戦後沖縄前衛美術のバイオニアとして活躍しました。本展覧会では、真喜志がアメリカ戦後美術、特にポップアートに影響を受けた1970年代の作品、沖縄の基地や社会問題を彼なりの視点で捉え表現した《カウントダウン》など飛行機シリーズ、晩年のオスプレイをモチーフとした作品群、平面に漆喰や漆、鉄板など様々な素材を用いた作品など幅広い展示を行いながら、戦後沖縄前衛美術の流れのひとつを、真喜志作品をととして紹介します。(学芸員 島筒 格)

11月1日(火)～2017年4月2日(日) 美術館コレクションギャラリー1、2
※美術館コレクションギャラリー3では、「沖縄美術の流れ(後期)」を同時開催
一般 310(250)円、高校・大学生 210(170)円、小・中学生 100(80)円、県内小中学生無料



「Army chips at Okinawa」

※開館時間:博物館、美術館ともに午前9時～午後6時 金・土は午後8時まで(※入場は閉館30分前まで) 月曜休館(祝祭日の場合は翌日休館)

※()内は前売及び20人以上の団体料金

「IP」を養うパワースポット

最近、「パワースポット」が流行っています。その定義はパワーを発すると思われるモノの力を信じて、その恵みにあずかるという意味です。そこで「博物館は“IP”を養うパワースポット」だと日頃から思っていることを話したいと思います。ここでいうIPとは、アイデンティティ(自己認識)の「I」とプライド(誇り)の「P」の意味です。

博物館はその70年間の歴史で、約10万件の資料を集めてきました。個々の資料にはその学術的な意味や歴史、そして美などがあつたりします。

戦後最初に博物館資料の収集を行ったのは米軍でした。当館で最も有名な資料のひとつの旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)は、沖縄戦で首里城が陥落した1945年5月23日から1ヶ月後の6月末には収集されました。本島南部ではまだ米軍による掃討戦が行われており、避難民がガマなどに隠れていたころです。

一方、ウチナーンチュは半年近くの収容所生活から解放され、1946年初めころから首里城周辺で散らばる文化財のかけらの収集を始めました。南部では真和志村民によって遺骨収集がなされ、魂魄の塔が建立された頃です。明日食べることに事欠く時に、心ある人によってこれら資料は大切に扱われ、リアカーに乗せて拾われてきました。彼らはかつての王国時代の建造物のガレキの中から、砕け散った資料のかけらに「歴史と文化の命」を見ていました。それは、将来の沖縄を担うウチナーンチュのためのIP、すなわちアイデンティティとプライドを拾っていたのだと思います。

そのおかげで、戦後焼け残った瓦屋やトタンの小屋から始まった博物館は、今日立派な施設の中で沖縄の自然、歴史、文化を発信することができます。博物館の常設展示では常時、約3千点の資料を観ることができます。さらに、それ以外に約9万件以上の資料が収蔵庫には大切に保管されています。そのことが、今日及び次代のウチナーンチュのために資料を保管し、調査研究を進め、楽しくためになる展示会をつくり、さらに資料の価値を普及啓発するための教育普及プログラムを創る社会教育施設としての博物館の使命なのです。70年間の歴史を刻み、10万件以上の「沖縄」を語る資料が存在する博物館。これ以上のパワースポットを私は知りません。

(博物館班長 園原 謙)



東恩納博物館



首里市立郷土博物館



沖縄民政府立博物館



沖縄県立博物館



沖縄県立博物館・美術館

はくびのここが好き!

展覧会受付担当 久保斉子 さん

和歌山県出身／ていびち(豚足)は煮るのも食べるのも大好き。

20歳の頃から展覧会の交流員に憧れていました。

博物館常設展に展示されている「線刻石版」は、ぜひ見ていただきたい1点です。私はこの資料に出会ったことをきっかけに沖縄の歴史に興味を持つようになり、どんどんハマっていきました。絵や記号のようなものが刻まれた不思議な石にロマンを感じます。



ミュージアムショップ ゆいむい

池宮城店長の
おすすめ商品!



販売価格 ¥750(税込)

当館所蔵の「進貢船の図」をパッケージに採用した琉球菓子「きんそう」は、沖縄固有の豚アゲーのラードを使用し黒糖の香りと甘み、まろやかな口どけが特長の人気商品です。来館記念やお土産にぜひどうぞ!

営業時間 9:00~18:00 直通:098-941-0749



主催事業:フクギ並木観賞ガイドツアー

沖縄博物館友の会

博物館友の会は、博物館常設展示室への展示交流員配置事業、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会の開催、毎月の会員への情報提供、年1回の会誌の発行と博物館の講座等のサポートを実施しています。

直通:098-868-2722

11月3日(木)
「文化の日」は無料開放日!



11月3日は「文化の日」にちなんで博物館常設展と美術館コレクション展は無料開放します。この機会に沖縄の歴史や文化、アートに親しんでみませんか?

ミュージアムカフェ 茶花(ちゃか)

カフェより秋の耳寄り情報



9月から「沖縄の工芸」をテーマとした展示が始まります。それに合わせて、9月から寒くなるまでの期間、3階 Museum Cafe 茶花では関連メニューの販売を予定しています。お楽しみに!

営業時間 11:00~18:00 TEL/FAX 098-862-7530
席数 42席(テーブル数15) NAHA Wi-Fi加入店



ゆんたくミュージアムツアーの様子

NPO法人 沖縄県立美術館支援会 happ

happ(はっぷ)とは、沖縄県立美術館の活動をサポートするNPO団体で、スカンジナビア語のhapp(幸運)からきています。ARTを身近に感じられる活動を通じ、それぞれのhappな出会いがある場を皆さんと一緒につくっていきたくと考えています。

直通:090-8290-0633

E-mail:okinawahapp@yahoo.co.jp

教育普及コーナー あなたにあった 博物館・美術館イベントの 楽しみ方

フローチャートで知る

当館では、毎月いろいろなイベントを実施しています。今回は、催事を担当する私たちがあなたにピッタリのイベントを提案します！

START

答えに合わせて進もう！

今日の気分はどっち？
a. 美術館 b. 博物館

a. →
b. →
c. →

どちらかというと・・・

a. 絵を描くことが好き b. 写真を撮るのが好き

あなたの卵の食べ方の好みは？

a. 目玉焼き b. たまご焼き

沖縄といえばこれこれ！

a. ハブ b. 泡盛

年に一度のビックイベント“那覇大綱引き”あなたは、どこで見ている？

a. 参加する派 b. テレビで見る派

沖縄のソウルファッション“かりゆし”あなたが着るならどの柄？

a. ポップなデザイン b. 伝統的な柄

旅行に行くなら・・・

a. ツアーに申し込む b. 個人で散策

好きな映画のジャンルは？

a. SF b. 時代もの

あなたはどんなタイプ？

a. 人の話を聞くのが好き
b. 自分の目で確かめたい
c. a.b両方

もし就職するとしたらどの職業に就いてみたい？

a. 学芸員
b. 作家
c. 研究者

お店でおやつを買うなら次のうちどれ？

a. 新商品
b. おまけつきの商品
c. いつもと同じ商品

A 学芸員さんってどんな人？
気になったあなたは

学芸員講座(博・美)へGO!!
毎月1回 土曜日 14:00-16:00
さまざまな調査研究を行う学芸員。バラエティーに富んだ学芸員の研究エピソードは、とにかく面白いです！

C アーティストとは？
気になったあなたは

ギャラリートーク(美)へGO!!
美術館：展覧会ごとに実施中
作家本人や作家にゆかりのあるゲストをお招きし、作品にまつわるエピソードなどを聞くことができます。

D 研究の最新情報を
得たい人は

**文化講座/
シンポジウム(博・美)へGO!!**
学芸員がお勧めする講師による講座。新しい発見に出会えるかも！

B 本物に隠された
エピソードを
知りたいあなたは

**展示解説会(博)/
キュレータートーク(美)へGO!!**
博物館：毎月1回 木曜日 14:00-15:00
美術館：展覧会ごとに1回
展示品は何を語っているのでしょうか。展示品を見るときに役立つ情報を学芸員がお話します。

E 扉の向こうが
気になるあなたは

**バックヤードツアー(博)/
ミュージアムツアー(美)へGO!!**
博物館：毎月1回 土曜日 14:00-15:00
美術館：3ヶ月に1回 土曜日 10:30-12:00
普段見ることのできない博物館・美術館の裏側を学芸員が案内します。扉の向こうには何があるのか？一度参加してみたいかがでしょうか。

上記以外にも「ふれあい体験室ワークショップ(毎週土曜日)」や「博物館ボランティアガイド(毎週水・金・日)」など沢山のプログラムがあります！気軽に遊びにきてね♪

※この質問は、教育普及担当者の独断と偏見で作成しています。

イベント情報

博 博物館のイベント 美 美術館のイベント 指 指定管理者のイベント

9-11月

※日程やタイトルなど変更する場合があります。参加方法など詳しくはHPをご覧ください
※9/1(木)～9/9(金)は消毒休館(全館)

指 ふれあい体験室ワークショップ ふれたい博士の「土器文様しらべ」

土色の紙粘土を使って「土器のカケラ風チャーム」をつくります。

9/10± 17± 24±

[講師] ふれあい体験室スタッフ [時間] 10:00、10:30、11:00、11:30
[場所] 1階エントランス [定員] 各回先着10人 [参加費] 150円
※10月以降も毎週土曜日に実施します。内容は決定次第HP・チラシでお知らせします

博 常設展示解説会

学芸員が常設展示室の解説をします。

歴史 9/15 木

考古 10/13 木

人類 11/10 木

[講師] 各担当学芸員 [時間] 14:00-15:00
[場所] 博物館常設展示室
※常設展示室の当日入場券が必要

博 文化講座

講師を招き沖縄の自然・歴史・文化に関する講演会を開催します。

9/24± 柳宗悦と沖縄の工芸
[講師] 杉山享司氏

10/15± 沖縄の土を知って、これからの環境を考える
[講師] 金城和俊氏

11/19± Out of Africa: ホモサピエンスのアジア拡散モデルの再構築 [講師] 松村博文氏

[時間] 14:00-16:00 [場所] 講堂 [定員] 各回200人

博 バックヤードツアー

普段は見ることのできない博物館の裏側を学芸員が案内します。

考古 9/24±

民俗 10/22± [案内] 各担当学芸員 [時間] 14:00-15:00

教育普及 11/26± [場所] 博物館バックヤード [定員] 各回先着12人

博 学芸員講座

学芸員が研究・調査の報告や収蔵品の紹介をします。

10/1± 11/5±

[講師] 美術工芸担当学芸員 [時間] 14:00-16:00
[場所] 博物館講座室 [定員] 各回先着80人

美 学芸員講座

学芸員の研究成果や取り組みの発表をします。

9/17±

10/22±

11/26±

[講師] 美術館学芸員 [時間] 14:00-15:30
[場所] 美術館講座室 [定員] 各回先着50人

美 ギャラリートーク

「真喜志勉展-アンビバレント」関連

展示作家や関係者を招きお話をさせていただきます。

11/1 火 20 日

[時間] 14:00-15:30 [場所] 美術館講座室他
※展示室の場合、コレクションギャラリー当日入場券が必要

美 ミュージアムツアー

普段は見ることのできない美術館の裏側とコレクションギャラリーを案内します。

11/26±

[案内] 教育普及担当学芸員 [時間] 10:30-12:00
[場所] 美術館バックヤード、コレクションギャラリー
[定員] 各回12人(事前申込制)
※コレクションギャラリーの当日入場券が必要

その他のイベント情報

博 体験学習教室「貝器をつくろう」

11/19± [参加方法] 事前申し込み
※詳しくは決定次第お知らせします

美 ワークショップ

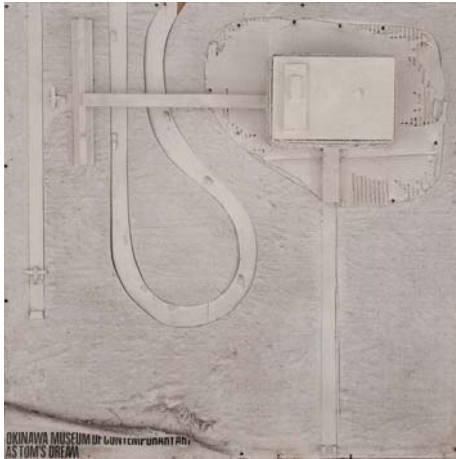
「真喜志勉展-アンビバレント」関連

11/5± ※詳しくは決定次第お知らせします

美 シンポジウムまたは講演会 「真喜志勉展-アンビバレント」関連

11月中に開催予定
※詳しくは決定次第お知らせします

まだまだあるよー



〔表紙作品解説〕

OKINAWA MUSEUM OF CONTEMPORARY ART AS TOM'S DREAM

(真喜志 勉 作/制作年不明)

11月1日(火)より始まる美術館ニュー・コレクションシリーズ第2弾『真喜志 勉 展ーアンビバレント』で展示予定の作品です。作品左下には「OKINAWA MUSEUM OF CONTEMPORARY ART AS TOM'S DREAM」と記されています。県立博物館・美術館ができるずっと以前に、真喜志勉が考えた沖縄の現代美術館。画面右上の美術館と思われる建物は飛行場のターミナルと高架橋で直結しています。館から一直線に伸びる道路、滑走路から飛び立とうとしている飛行機、はたしてその先にあるものは。(学芸員 島筒 格)

沖縄県立博物館・美術館

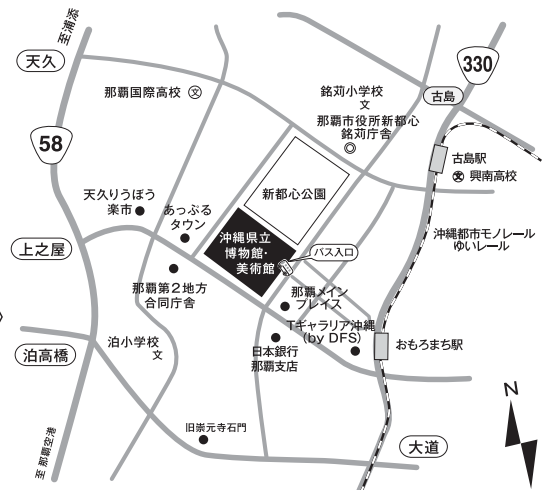
〔開館時間〕午前9時～午後6時(金曜日・土曜日は午後8時まで) ※入館は閉館30分前まで

〔休館日〕月曜日(月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館)
年末(12月29日～31日)、臨時休館(1月4日)
館内消毒休館(9月1日～9日、2017年2月20日～23日)
※休館日は変更することがあります

アクセス | 駐車場は台数が限られておりますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

〔バス〕那覇空港発99番線 おもろまち3丁目バス停下車〈徒歩5分〉
120番線 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
市内線 3.7.10番線 県立博物館前バス停下車
6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車〈徒歩5分〉
市外線 バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車〈徒歩10分〉
国道58号経由 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車〈徒歩3分〉

〔沖縄都市モノレール〕ゆいレール おもろまち駅下車〈徒歩10分〉



編集後記 | 沖縄美ら島財団の「広報誌」第1号
がついに完成しました!〈秋号〉から
スタートした本誌ですが、中途半端と言わないでく
ださい。なぜなら当館にとって「秋」は誕生の季節
(2007年11月1日開館)だから…。本誌はこれから
も当館の情報と魅力を全力でお伝えしていきます
ので、次号以降もどうぞ楽しみに。(美ら子)

はくび通信 vol.01 秋号 季刊誌

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL 098-941-8200 (代表)

〔発行日〕2016年9月1日

〔編集・発行〕沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団



只今、沖縄県立博物館・美術館の1階ミュージアム
ショップ「ゆいむい」で限定オリジナルグッズが当
たるトートトリップキャンペーンを開催中!!

「沖縄美ら海水族館」or
「首里城公園」の半券を持って
ミュージアムの旅へGO!!

半券1枚につき1回、
オリジナルトートなどが当たる
ガチャガチャを回せます。

詳しくは特設ページで! ➡

